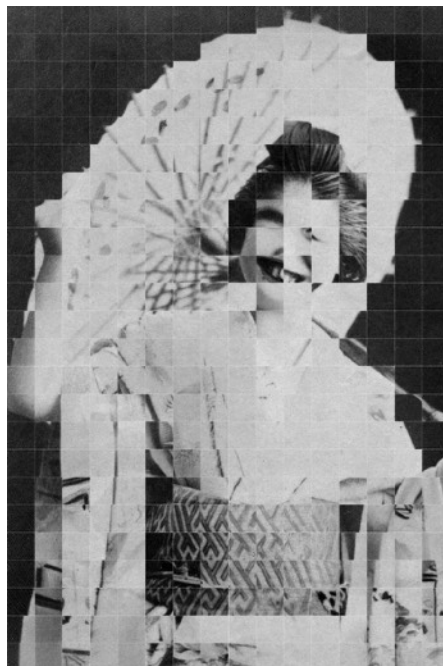




1

Umbrella ©Kensuke Koike, Courtesy of Akio Nagasawa

小池健輔 「See You Tomorrow」

この度、Akio Nagasawa Gallery Aoyamaでは、小池健輔個展「See You Tomorrow」を開催いたします。小池は、1980年愛知県名古屋市生まれの現代美術作家です。イタリア国立ヴェネツィア芸術アカデミーを経てヴェネツィア建築大学ビジュアルアート専攻を修了し、現在はイタリア・ヴェネツィアを拠点に、世界各地で展覧会を開催しています。

小池は、蚤の市などで入手したヴィンテージの写真や絵葉書を切り貼りし、再構成することで、新たなイメージを生み出す独自の手法で作品を制作してきました。

本展では、これまで西洋の古写真を使用してきた小池が、初の試みとして、日本の明治期の古写真を素材に新たに制作したオリジナル作品を発表いたします。ぜひこの機会にご高覧ください。

《開催概要》

作家名	小池健輔
タイトル	「See You Tomorrow」
会期	2025年5月28日（水）－6月28日（土） 木曜～土曜 11:00-13:00 / 14:00-19:00 休廊日：日曜～水曜、祝日 ※5月28日（水）のみ臨時営業
会場	Akio Nagasawa Gallery Aoyama 〒107-0062 東京都港区南青山5-12-3 Noirビル2F TEL：03-6427-9611
公式ページ	https://www.akionagasawa.com/exhibition/kensuke-koike/

《作家ステートメント》

See You Tomorrow

人がいなくなっても、その痕跡はどこかに残る。
古い写真や記憶は、静かな亡霊のように、日常の中に溶け込み続ける。

古い人物写真や風景写真の一部を切り取り、それを一度だけ再構成している。
遠くから見ると面影があるように見えるが、近づくにつれて輪郭はぼやけ、
何が写っているのか分からなくなる。
それは、記憶が時間とともにあいまいになっていく様子に重なる。

すべての作品は、もとの写真の断片だけでできている。
新しい要素は加えられていない。
だからこそ、再構成された像には、過去の気配や記憶が自然と染み込んでいる。
それでも形は変わっていく。
DNAが世代を超えて受け継がれるように、記憶もまた、姿を変えながら残っていく。

「See You Tomorrow」は、日々の別れ際に交わされる、ごく普通の言葉。
けれど、その約束が果たされなかったとき、そこにあるのは不在の気配と、
もう会えないかもしれないという空白。

この展示では、記憶やつながり、遺されたものが、時間とともにどのように薄れていくのかを
見つめている。
そして、ぼやけていく像の中に何を見るか、それは観る者それぞれの記憶や想像に委ねられている。



2



3

2. Bath, 3. Waterfall Nikko ©Kensuke Koike, Courtesy of Akio Nagasawa Gallery

《作家略歴》



Photo by Yusuke Abe

小池健輔 Kensuke Koike

1980年名古屋生まれ。

現在はイタリア・ヴェネツィアを拠点に活動する現代美術作家。

写真や絵葉書といったヴィンテージ素材を用い「何も加えず、何も取り除かず（No More, No Less）」という哲学のもと、カットと再構成のみで新たなイメージを生み出す独自のコラージュ作品で国際的に高い評価を受ける。その緻密で詩的な作品は視覚の錯覚と現実の境界を問い直し、既存の記憶やイメージに新たな物語を付与する。

世界各地で展覧会を開催。

■ オフィシャルサイト <https://www.kensukekoike.com/>

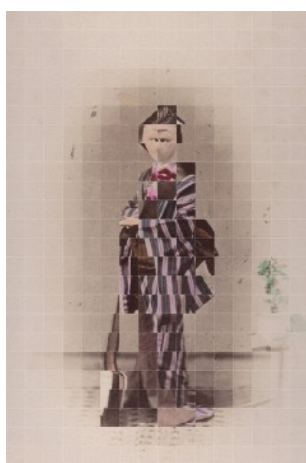
■ Instagram <https://www.instagram.com/kensukekoike/>

《広報・ご取材に関するお問い合わせ》

AKIO NAGASAWA Gallery | Publishing（担当：後藤）goto@akionagasawa.com

《広報用画像》

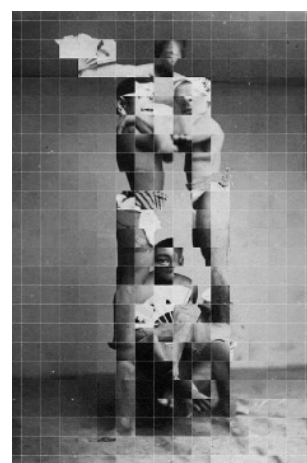
ご希望の画像番号をお申し付けください。



4

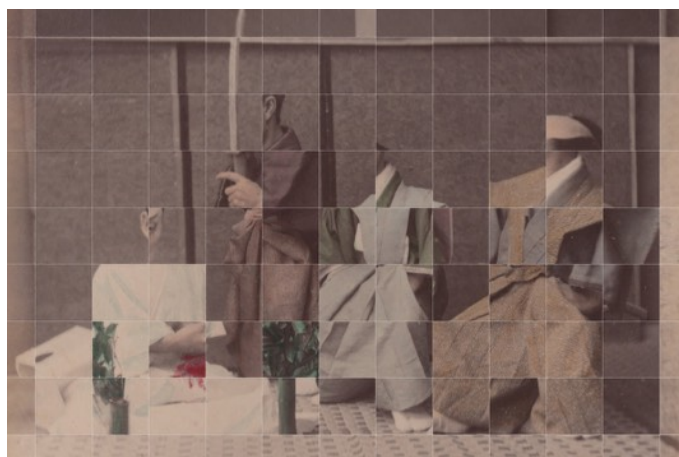


5



6

4. Shamisen, 5. Mirror, 6. Performers ©Kensuke Koike, Courtesy of Akio Nagasawa Gallery



7

Samurai ©Kensuke Koike, Courtesy of Akio Nagasawa Gallery